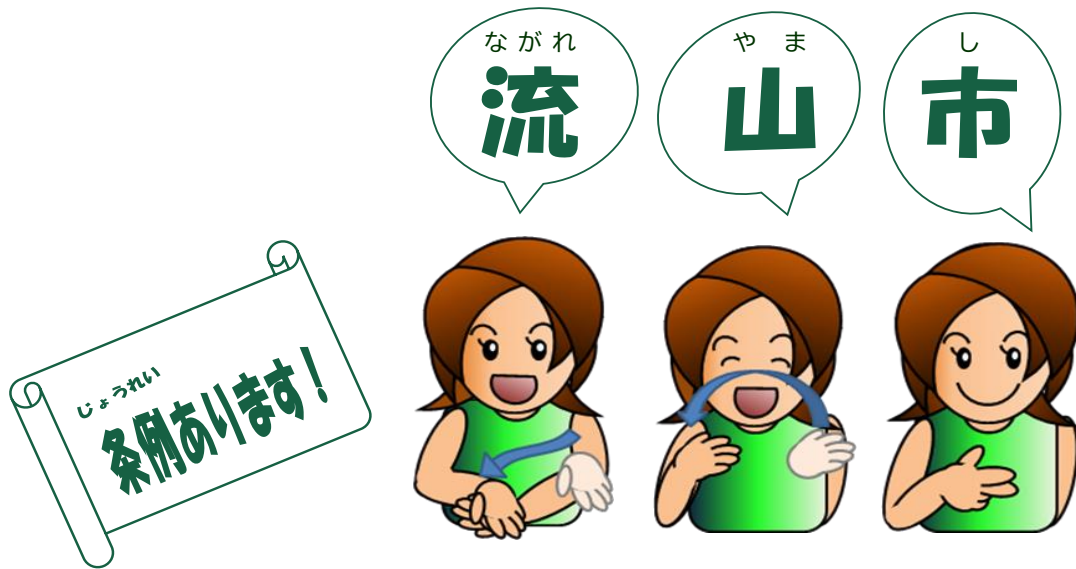




しゅわ かん じょうれい し
手話に関する条例を知っていますか？



ながれやまししゅわげんご ふきゅうそくしん かん じょうれい
「流山市手話言語の普及促進に関する条例」が

へいせい ねん がつ にち せこう
平成31年4月1日に施行されました。

しゅわ にほんご どうよう げんご
手話は日本語と同様に言語であること

りかい しょうがい うむ
について理解し障害の有無にかかわらず

だれ あんしん く ながれやまし めざ
誰もが安心して暮らせる流山市を目指します。

「手話は言語」しゅわ げんご 知って！協力きょうりょくしてください！

平成31年4月1日に「流山市手話言語の普及の促進に

関する条例」が施行されました。

この条例は「手話が言語」であることについて理解し、誰

もが安心して暮らせる流山市を目指すための条例です。

流山市は何をするの？

流山市では、手話への理解の促進と普及のために様々な施

策を推進します。

【宣言します！5つの約束！！】

①手話を知ってもらい、手話が言語であることを広めます。

②聴覚障害者へ向けて情報を発信します。

③聴覚障害者が生活しやすい環境を作ります。

④学校で手話を学ぶ機会を作ります。

⑤災害時に迅速な情報発信と支援をします。



ながれやましみんな
流山市民の皆さんへ

しみんみんなしゅわりかいはが
市民の皆さんは、手話への理解をお願いします。

ながれやましおこなちょうかくしょうがいしゃたいせさくはいりよ
また、流山市が行う聴覚障害者に対する施策について配慮

きょうりよくねが
や協力をお願いします。

みんなりかいきょうりよくくながれやましつく
皆さんの理解や協力が、暮らしやすい流山市を作ります。

じぎょうしゃみんな
事業者の皆さんへ

かいしゃしょうてんじぎょうしゃみんなしゅわりかいきょう
会社や商店などの事業者の皆さんも、手話への理解にご協

りよくねが
力をお願いします。

おんせいいがいこきゃくたいおうちょうかくしょうがいしゃはたらしよくばかんきょう
音声以外の顧客対応や聴覚障害者が働きやすい職場環境の

せいびちはいりよ
整備などを小さな配慮からはじめてください。



しゅわ
そもそも手話って？

しゅわめみことばげんご
手話は目で見る言葉であり、ひとつの言語です。

てゆびからだうごひょうじょうぜんしんひょうげん
手や指、体の動き、表情など全身で表現します。

にほんごえいごどくじぶんぽうほうげん
日本語や英語のように独自の文法があり、方言のようにそ

ちいきどくじひょうげんほうほう
の地域独自の表現方法もあります。

いつもこのようなことで困っています…

ちょうかくしょうがいしゃ ふだん よう ふべん かん
聴覚障害者は、普段どのようなことを不便に感じているのか
し
知ってください。

みな こま ひとたち おお
皆さんのちょっとしたサポートが困っている人達の大きな
ささ
支えになります。

おと わ 音だと分からない

まどぐちなど よ だ
窓口等での呼び出しや
かんないほうそうなど おんせいじょうほう
館内放送等の音声情報は、
き じょうほう
聞こえないので、情報を
え むづか
得ることが難しいです。

ポイント1

め み わ
目で見て分かる
も じ あんないひょうじなど
よう文字の案内表示等も
かつよう
活用してください。

がいけん わ 外見から分からない

がいけん しょうがい
外見からは障害がある
わ あいて
と分かりづらく、相手に
む し ご かい
“無視された”と誤解され
おお
ることが多いです。

ポイント2

こえ と き
声をかける時
かる かた たた
は、軽く肩を叩いてみて
ください。



じょうきょう わ
状況が分からない

おと き ろじょう
音が聞こえず、路上や
さいがいじ じょうきょう はんたん おく
災害時に状況判断が遅れ
きけん め
危険な目にあうことがあ
ります。

ふくすうどうじ むずか
複数同時は難しい

ふくすうどうじ かいわ
複数同時に会話すると
あいて くち うご わ
相手の口や動きが分から
ず、置いてきぼりに。
そがいかん かん
疎外感を感じます。

ポイント3

あぶ とき かた
危ない時は肩を
かる たた つた ほか さい
軽く叩いて伝える他、災
がいじ え も じ じょうほう
害時は絵や文字で情報を
し
知らせてください。

ポイント4

みんな かいわ
皆で会話をする
とき はつげんしゃ きょしゅ
時は発言者が挙手をして
はつげん しゅわ ひつだん
からの発言や手話、筆談
ないよう つた
で内容を伝えてください。

しんせつ ぜんぜんつた とき
親切なつもりでも、全然伝わらない時がある。

はなし
マスクをつけて話をしていませんか？

ちゃくよう ひつよう とき ちょうかくしょうがいしゃ なか
マスクの着用が必要な時もありますが、聴覚障害者の中に

くち かたち よ かいわ ひと
は口の形を読んで会話をする人もいます。

おお こえ はなし き かんちが ひと おお
大きな声で話をすれば聞こえると勘違いをしている人も多

き ひと ちが ちゅうい ひつよう
くいますが、聞こえは人により違い注意が必要です。



知っていますか？

実は“全国初”流山市の取り組み！

【その1】昭和57年 ミニファックス導入

「火事だ！」 「事件だ!？」 このような時、もし耳が聞こ

えなかったら…

これらの不安を解消するために「流山市ミニファックス聴

力障害者ネットワークシステム」を流山市は計画、システム

構築に成功しました。

電話で文書を送ることができるこの画期的なシステムは、

当時ニュースで取り上げられると、電電公社や福祉関係者

の間で注目されました。

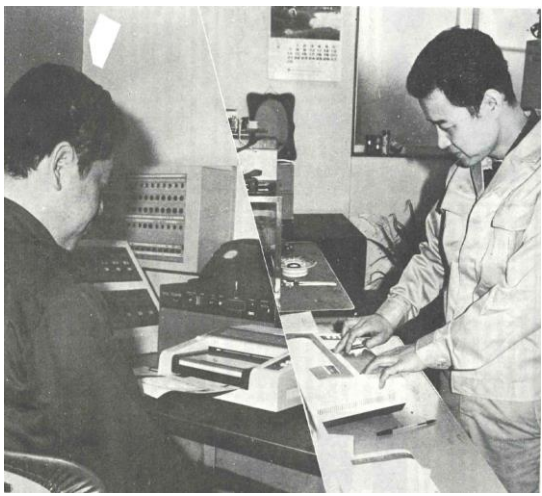
広報ながれやま

昭和57年2月15日号より

(左)消防署に設置された

ミニファックス

(右)緊急情報を送る高田さん





【その2】昭和58年 「電話お願い手帳」の配布

聴覚障害者の要望により流山市で誕生しました。

この手帳には「耳が不自由です。私の代わりに電話をかけ

てください。」という記載があり、周囲の人へ協力を求める

文章や筆談用のメモがついています。

全国に先駆け、流山電報電話局が地元の聴覚障害者と考案

し、初版140部が地元の障害者団体へ寄贈されました。

次版からは電電公社の発行になり、全国へと広がりました。



※アプリ版もあります

(左)昭和59年3月 電電公社の総裁室で談笑する秋元市長ら

自治体の長が単独会談をすることは異例であった

(右)電話お願い手帳

流山市

Nagareyama City



ながれやましやくしよ けんこうふくしぶ しょうがいしゃしえんか
流山市役所 健康福祉部 障害者支援課

ながれやましへいわだい
〒270-0192 流山市平和台1-1-1

TEL : 04-7150-6081 FAX : 04-7158-2727

さくせいきょうりよく
[作成協力]

ながれやまししゅわけんごふきゅうそくしんいんかい
流山市手話言語普及促進委員会

ちばけんりつとくべつしえんがっこう ながれやま こうとうがくえん
千葉県立特別支援学校 流山高等学園